# 令和4年度　荒井町敬老事業が開催されます

新型コロナ感染が収まりきらない中ですが、開催条件を限定して、今年度も「荒井町敬老事業」が下記の通り開催されます。この事業は、「世代間交流コンサート」として、10年前（2013年度）に荒井幼稚園で実施され、第1回目から、パーソナリティの谷五郎さんと高砂出身の音楽家をお招きして、幼稚園児、その保護者の方、高齢者の方の3世代に参加していただき、普段直接接触がない方々のお話と演奏を楽しみました。2年間コロナ感染拡大防止のためやむを得ず中止しましたが、昨年に引き続き今年も開催する運びとなりました。参加申し込みは荒井町連合自治会を通してお申込みください。皆様のご来場をお待ちしております。

## 令和4年度の【荒井町敬老事業】の概要

主催：荒井町敬老事業協議会

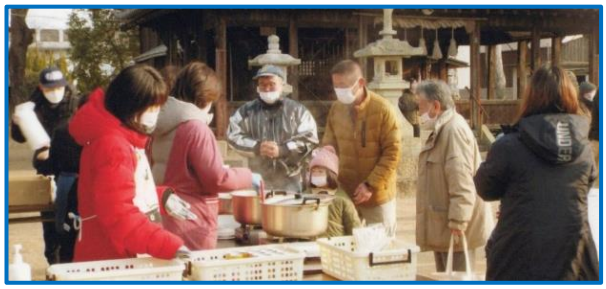
1　日時　令和5年3月25日（土）10:00（9:30会場）
2　場所　荒井公民館集会室（2階）
3　内容
≪第一部≫　谷五郎さんのマンドリン演奏とトーク
　演奏曲　ケンタッキーワルツ、テネシーワルツ、スーダラ節
≪第二部≫　高砂出身音楽家などによる演奏
　演奏者　高原いつかさん（アルト）、島田幸子さん（チェロ）、北野麻里子（フルート）、加藤あや子さん（ピアノ）
　演奏曲　愛の挨拶、はんか草、日本唱歌より、他
※　演奏曲名は、当日変更される場合があります。

昨年度の敬老事業の一場面

## ≪世代間交流事業のメッセージ≫　小松原で「左義長（とんど）」が開催される！

令和５年１月９日（月･祝）、小松原三社大神社境内において、正月の火祭り「左義長（とんど）」が行われました。気になる「とんど焼き」という不思議な名前の由来は、①どんどん燃えるから②燃やし始めに青竹がはぜて「どんっ」と音がするからなど諸説あり、音の響きからついたようです。

主催された小松原自治会長の石原隆彰さんは、本年は、子ども会の協力で参加者にぜんざいとみたらし団子が振る舞われました。広場では、伝統芸能の「南京玉すだれ」が、ボランティア団体「播磨シラサギ」の皆さんによる「八房流南京玉すだれ」が披露されました。閉じこもりがちな高齢者、子どもたち、新たな住民の方々との相互交流が図られ、昔の正月の風物詩「とんど」の情景が思い浮かぶような賑わいでした。



お願い
「協議会だより」について、ご意見等をお寄せください。右の事務局までよろしくお願いします。

発行責任者　荒井地区支え合いづくり協議会　会長　福本　隆文
事　務　局　社会福祉法人　高砂市社会福祉協議会地域福祉課
第2層生活支援コーディネーター（岡田）
TEL　079-443-3725　FAX　079-443-0505